
平成23年度

中間決算の概要(9月期)

地方公共団体金融機構

平成23年度中間決算(9月期)のポイント

- ◆ 経常利益は1,188億円。特別利益(準備金・積立金取崩し)2,264億円、特別損失(準備金繰入れ)3,341億円を計上したため、中間純利益は111億円。
- ◆ 資産総額は貸付金等23兆5,675億円、負債総額は債券等23兆4,841億円、純資産総額は出資金等833億円を計上。
- ◆ 地方公共団体健全化基金は9,158億円、金利変動準備金は8,800億円、公庫債権金利変動準備金は3兆307億円を計上。
- ◆ 会計処理等は、原則として企業会計原則による。なお、地方公共団体健全化基金、金利変動準備金等の機構特有の財務基盤に係る会計処理については、関係法令の規定等による。

利益の状況 [機構全体]

- ◆ 平成23年度上半期の**経常利益は1,188億円**で、平成22年度上半期より73億円減少。
- ◆ 経常費用が債券利息の減少等により54億円減少した一方、経常収益が貸付金利の減少等により127億円減少したことが要因。
- ◆ 公庫債権金利変動準備金繰入額(特別損失)が114億円減少したこと等もあり、**中間純利益は111億円**で、平成22年度上半期より34億円増加。

【平成22年度中間決算】

経常収益	2,720億円
貸付金利	2,705億円
余資運用益	4億円
その他	9億円
経常費用	1,458億円
債券利息	1,410億円
その他	47億円
経常利益	1,261億円
特別利益	2,271億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	2,200億円
利差補てん積立金取崩額	71億円
特別損失	3,455億円
金利変動準備金繰入額	2,200億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	1,255億円
中間純利益	77億円

経常利益は
73億円減少



中間純利益は
34億円増加

【平成23年度中間決算】

経常収益	2,593億円	(▲127億円)
貸付金利	2,580億円	(▲125億円)
余資運用益	3億円	(▲1億円)
その他	8億円	(▲1億円)
経常費用	1,404億円	(▲54億円)
債券利息	1,365億円	(▲45億円)
その他	39億円	(▲8億円)
経常利益	1,188億円	(▲73億円)
特別利益	2,264億円	(▲7億円)
公庫債権金利変動準備金取崩額	2,200億円	(-)
利差補てん積立金取崩額	64億円	(▲7億円)
特別損失	3,341億円	(▲114億円)
金利変動準備金繰入額	2,200億円	(-)
公庫債権金利変動準備金繰入額	1,141億円	(▲114億円)
中間純利益	111億円	(34億円)

利益の状況 [一般勘定]

- ◆ 平成23年度上半期の一般勘定における**経常利益及び中間純利益は76億円**で、平成22年度上半期より39億円増加。
- ◆ 貸付金利息は132億円増加。一方、債券利息は85億円の増加に止まり、47億円の増益要因となった。
- ◆ 基金組入額(経常費用)が皆減(▲9億円)となり、これに基金関連の勘定間取引を含めた基金関係全般では、2億円の減益要因となった。
- ◆ このほか、スワップ関連で5億円の減益要因が生じた。

【平成22年度中間決算】

経常収益	289億円
貸付金利息	192億円
余資運用益	4億円
金利スワップ受入利息	8億円
健全化基金受入額	一億円
その他※1	84億円
経常費用	251億円
債券利息	129億円
金利スワップ支払利息	一億円
その他業務費用	12億円
営業経費	11億円
健全化基金組入額	9億円
その他※2	89億円
経常利益	37億円
特別利益	2,200億円
管理勘定繰入金	2,200億円
特別損失	2,200億円
金利変動準備金繰入額	2,200億円
中間純利益	37億円

経常利益は
39億円増加



中間純利益は
39億円増加

【平成23年度中間決算】

経常収益	397億円
貸付金利息	324億円
余資運用益	3億円
金利スワップ受入利息	6億円
健全化基金受入額	0億円
その他※1	62億円
経常費用	320億円
債券利息	214億円
金利スワップ支払利息	2億円
その他業務費用	12億円
営業経費	11億円
健全化基金組入額	一億円
その他※2	79億円
経常利益	76億円
特別利益	2,200億円
管理勘定繰入金	2,200億円
特別損失	2,200億円
金利変動準備金繰入額	2,200億円
中間純利益	76億円

(増減)
(108億円)
(132億円)
(▲1億円)
(▲2億円)
(皆増)
(▲22億円)
(69億円)
(85億円)
(皆増)
(▲0億円)
(0億円)
(皆減)
(▲9億円)
(39億円)
(-)
(-)
(-)
(-)
(39億円)

※1 うち、健全化基金受取利息について、H22中間決算は78億円、H23中間決算は57億円。
 ※2 うち、健全化基金管理勘定繰入金について、H22中間決算は87億円、H23中間決算は77億円。

利益の状況 [管理勘定]

- ◆ 平成23年度上半期の**経常利益は1,112億円**で、平成22年度上半期より111億円減少。
- ◆ 債券利息は131億円減少。一方、貸付金利息は257億円の減少となり、126億円の減益要因となった。
- ◆ 基金関係では、基金関連の勘定間取引により11億円の増益要因となった。
- ◆ **中間純利益は35億円**で、平成22年度上半期より5億円減少。
- ◆ 利差補てん積立金取崩額(特別利益)が7億円の減少となり、同額の減益要因となった。
- ◆ 準備金関係では、公庫債権金利変動準備金繰入額(特別損失)が114億円の減少となり、同額の増益要因となった。

【平成22年度中間決算】

経常収益	2,602億円
貸付金利息	2,513億円
その他※1	89億円
経常費用	1,378億円
債券利息	1,281億円
その他※2	97億円
経常利益	1,223億円
特別利益	2,271億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	2,200億円
利差補てん積立金取崩額	71億円
特別損失	3,455億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	1,255億円
一般勘定繰出金	2,200億円
中間純利益	40億円

経常利益は
111億円減少

中間純利益は
5億円減少

【平成23年度中間決算】

経常収益	2,336億円	(▲266億円)
貸付金利息	2,256億円	(▲257億円)
その他※1	80億円	(▲9億円)
経常費用	1,224億円	(▲154億円)
債券利息	1,150億円	(▲131億円)
その他※2	74億円	(▲23億円)
経常利益	1,112億円	(▲111億円)
特別利益	2,264億円	(▲7億円)
公庫債権金利変動準備金取崩額	2,200億円	(-)
利差補てん積立金取崩額	64億円	(▲7億円)
特別損失	3,341億円	(▲114億円)
公庫債権金利変動準備金繰入額	1,141億円	(▲114億円)
一般勘定繰出金	2,200億円	(-)
中間純利益	35億円	(▲5億円)

※1 うち、健全化基金一般勘定繰入金について、H22中間決算は87億円、H23中間決算は77億円。
 ※2 うち、健全化基金支払利息について、H22中間決算は78億円、H23中間決算は57億円。

資産の状況

- ◆ 平成23年度9月末現在の**資産総額は23兆5,675億円**で、平成22年度3月末現在より3,408億円増加。
- ◆ 貸付金の定期回収により有価証券・現金預け金の合計額が3,340億円増加したこと等が要因。

【平成23年3月31日現在】

貸付金	22兆2,318億円
有価証券	4,575億円
現金預け金	5,166億円
その他資産	170億円
有形固定資産	29億円
無形固定資産	7億円
合計 23兆2,267億円	

【平成23年9月30日現在】

貸付金	22兆2,389億円
有価証券	8,869億円
現金預け金	4,212億円
その他資産	166億円
有形固定資産	29億円
無形固定資産	6億円
合計 23兆5,675億円	

(増減)



資産総額は
3,408億円増加

(71億円)

(4,294億円)

(▲954億円)

(▲4億円)

(0億円)

(▲1億円)

(3,408億円)

※ 有価証券・現金預け金の合計 9,742億円

※ 有価証券・現金預け金の合計 1兆3,081億円

負債の状況

- ◆ 平成23年度9月末現在の**負債総額は23兆4,841億円**で、平成22年度3月末現在より3,267億円増加。
- ◆ 負債の大半を占める債券について、当期発行額が償還額等を2,227億円上回ったこと等が要因。
- ◆ 金利変動準備金は2,200億円増加。一方、公庫債権金利変動準備金は1,058億円減少。

【平成23年3月31日現在】

債	券	18兆3,271億円
地方公共団体 健全化基金		9,158億円
金利変動準備金		6,600億円
公庫債権金利変動 準備金		3兆1,365億円
利差補てん積立金		998億円
そ の 他		179億円
合計		23兆1,574億円

【平成23年9月30日現在】

債	券	18兆5,498億円	(2,227億円)
地方公共団体 健全化基金		9,158億円	(▲0億円)
金利変動準備金		8,800億円	(2,200億円)
公庫債権金利変動 準備金		3兆307億円	(▲1,058億円)
利差補てん積立金		934億円	(▲64億円)
そ の 他		143億円	(▲36億円)
合計		23兆4,841億円	(3,267億円)



負債総額は
3,267億円増加

純資産の状況

- ◆ 平成23年度9月末現在の純資産総額は833億円で、平成22年度3月末現在より140億円増加。
- ◆ 平成23年度上半期における一般勘定の間純利益76億円、管理勘定の間純利益35億円を、各勘定の間純未処分利益として計上したほか、金利スワップ取引に係る評価益(期中解約分△8億円、現存スワップ時価評価分23億円)等である繰延ヘッジ損益が28億円増加したことが要因。

【平成23年3月31日現在】

地方公共団体出資金	166億円
一般勘定積立金	138億円
管理勘定利益積立金	475億円
繰延ヘッジ損益	△86億円
{ うち金利スワップ期中解約分 △72億円 現存スワップ時価評価分 △10億円 }	

合計 693億円



【平成23年9月30日現在】

地方公共団体出資金	166億円	(増減)
一般勘定積立金	138億円	(一)
一般勘定中間未処分利益	76億円	(76億円)
管理勘定利益積立金	475億円	(一)
管理勘定中間未処分利益	35億円	(35億円)
繰延ヘッジ損益	△58億円	(28億円)
{ うち金利スワップ期中解約分 △8億円 現存スワップ時価評価分 23億円 }		

合計 833億円

(140億円)

純資産総額は
140億円増加

(参考)平成23年度9月期決算における主要勘定の状況 (単位:億円)

【貸付金】

前期末 残高 ①	貸付額 ②	回収額 ③	期末残高 ①+②-③
222,318	8,551	8,480	222,389

【債券】

前期末 残高 ①	発行額 ②	償還額等 ③	期末残高 ①+②-③
183,271	9,254	7,028	185,498

【地方公共団体健全化基金】

前期末 残高 ①	納付金等 ②	基金 運用益 ③	利下げ補て ん所要額 ④	期末残高 ①+②+③-④
9,158	-	97	97	9,158

【利差補てん積立金】

前期末 残高 ①	取崩額 ②	期末残高 ①-②
998	64	934

【金利変動準備金・公庫債権金利変動準備金】

	前期末残高 ①	年次繰入れ ②	公庫貸付に係る 利下げ所要額 ③	公営企業 債券借換益 ④	期末残高 ①+②+③+④
金利変動準備金	6,600	2,200	-	-	8,800
公庫債権金利変動準備金	31,365	△2,200	77	1,064	30,307